



Broadband Router

無線ブロードバンドルータ

LD-WBBR1





| 必ずお読みください | P1~13 |
|------------------|--------|
| 接続する | P14~16 |
| コンピュータ側の設定 | P17~25 |
| インターネットへの接続 | P26~31 |
| 無線LANの使いかた | P32~37 |
| 設定ユーティリティのリファレンス | P38~54 |
| ブルータ機能の使いかた | P55 |
| 必要に応じてお読みください | P56~63 |

User's Manual

エレコム株式会社

無線ブロードバンドルータ LD-WBBR1

User's Manual ユーザーズマニュアル

🔳 はじめに 🔳

この度は、弊社ラニードの無線ブロードバンドルータをお買い上げいただき誠にありがとう ございます。このマニュアルは11M無線LAN機能を搭載したブロードバンドルータ "LD-WBBR1"をコンピュータに導入するにあたっての手順が説明されています。また、お客 様が"LD-WBBR1"を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を 始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用 するようにしてください。なお、このマニュアルでは、一部の表記を除いて"LD-WBBR1"の ことを「本製品」と表記しています。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

ご注意

- ●本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- ●このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- ●このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- ●このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ●このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、 弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。
- ●本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外国為替法に基づく輸出また は役務取引許可が必要です。
- ●本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートはおこなっておりません。
- ●Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および™は省略させていただきました。

●このマニュアルで使われている記号

| 記号 | 意味 |
|-------|---|
| 注意 | 作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を 守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。 |
| MEMO | 説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。 |
| Esc A | キーボード上のキーを表わします。 |

安全にお使いいただくために

- an a a

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

| <u>杀</u> 警 | 告 | この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大 けがなど人身事故の原因になります。 |
|------------|---|---|
| ▲ 注 | 意 | この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけ がをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。 |





小さな子供のいるそばで、取り付け取りはずしの作業をおこなわないでください。 また、子供のそばに工具や部品を置かないようにしてください。 けがや感電をしたり、部品を飲み込んだりする危険性があります。



本製品の取り付け、取りはずしのときは、必ずコンピュータ本体および周辺機器 メーカーの注意事項に従ってください。

本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。 火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

本製品から煙やへんな臭いがしたときは、直ちにACコンセントからACアダプタ を抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。 そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



本製品に水などの液体や異物が入った場合は、直ちにACコンセントからACアダ プタを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。 そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。 火災や感電、故障の原因になります。





本製品の取り付け、取りはずしのときは慎重に作業をおこなってください。 強引な着脱は、機器の故障や、けがの原因になります。



本製品を次のようなところで使用しないでください。

- ・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
 ・直射日光のあたるところ
- ・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
 ・静電気の発生するところ、火気の周辺



長期間、本製品を使用しないときは、ACアダプタを抜いておいてください。

この装置は、現在設置されている場所で妨害波の測定がされた情報技術装置 です。この場所以外で使用する場合は、その場所で、再び妨害波の測定が必 要となります。

もくじ

ESS-IDを変更する・・・・・35

| はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
|--|
| 安全にお使いいただくために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2 |
| 導入の手順フロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5 |

| 1. | パッケージの内容を確認する ・・・・6 | 9. | 設定画面のリファレンス・・・・・・38 |
|----|-------------------------|----|----------------------------------|
| | | | 変更した設定の保存方法38 |
| 2. | 製品の保証とユーザ登録 ・・・・・・7 | | システムステータス・・・・・・39 |
| | | | WANポート設定・・・・・・・40 |
| З. | 本製品の概要について ・・・・・・・8 | | LANポート設定 ·····42 |
| | 本製品の特長8 | | DHCPサーバ設定 ·····43 |
| | 本製品の動作環境・・・・・・・・・9 | | NAT(NAPT)設定 · · · · · · · · · 44 |
| | 各部の名称とはたらき・・・・・・・10 | | ルーティング設定46 |
| | | | 無線LAN基本設定 · · · · · · · · 48 |
| 4. | 作業の前にお読みください・・・・・11 | | WEP設定 ······49 |
| | | | MACアドレス |
| 5. | 本製品を接続する・・・・・・・・・14 | | フィルタリング設定 ・・・・52 |
| | | | パスワード変更・・・・・54 |
| 6. | コンピュータ側の設定を | | |
| | 確認する ・・・・・17 | 10 | . ブルータ機能を使う・・・・・・・55 |
| | Windows XPでの設定 ・・・・・17 | | |
| | WIndows Me/98での設定・・・・21 | 11 | . こんなときは ・・・・・ 56 |
| | その他のOSでの設定・・・・・・・24 | | インターネットに接続できない…56 |
| | | | 無線LANアダプタから |
| 7. | インターネットへ接続する・・・・・26 | | 接続できない・・・57 |
| | 設定をはじめる前に・・・・・26 | | IPアドレス等がわからない・・・・58 |
| | 設定ユーティリティを | | リセットの方法60 |
| | 表示する・・・・27 | | |
| | 基本設定をおこなう | 12 | . サポートサービスについ・・・・・・61 |
| | インターネットに接続する31 | | |
| | | 13 | . 基本仕様 ・・・・・・63 |
| 8. | 無線LANを使う ······32 | | |
| | 無線LANだけで | | |
| | 本製品を使う場合の注意・・・・32 | | |
| | 無線LANで接続する ·······33 | | |
| | | | |

回線事業者やブロバイダなどとの契約を済ませておきます。 ADSL/CATVモデムの接続準備を完了しておきます。→P11 パッケージの内容を確認します。→P6 パッケージの内容を確認します。→P6 (* 本製品とモデム/コンピュータなどを接続します。→P14 本製品に接続するコンピュータのネットワーク設定を確認します。→P17 本製品の基本的な内容を設定します。→P26 インターネットに接続してみます。→P31

Lange

導入の手順フロー

✓ 必要に応じてオプション機能を設定します。→P38

●導入後はユーザ登録(⇒P7参照)をおこなってください。



本製品のパッケージには、次のものが入っています。作業を始める前に、すべて が揃っているかを確かめてください。なお、梱包には万全を期しておりますが、 万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店または弊社 ラニード・ブロードバンドルータ専用サポートまでご連絡ください。

●無線ブロードバンドルータ

"LD-WBBR1" 1台



●ACアダプタ 1個 本製品専用のアダプタです。



●ユーザ登録カード 1枚

| _ | 解使はがさ |
|---|-------------------------------|
| #228A | 170-8765 |
| 6077 | 東京都豊島区東治袋3-13-2 住友不動産東治袋ビル |
| 式和自規制 予成別年4 まで (切手不用 | Laneed 95-http:// |
| _ | |
| | ユーザ豊禄カード |
| •0.5 88 | ユーザ登録カード |
| •0.0 88 | ユーザ登録カード |
| •2.5 88 •215 | ユーザ登録カード |
| •2.5 88 •288 •288 •288 | ユーザ登録カード |
| •I.N 88 •R18 •Z25 •TEL •R88 | ユーザ 雪菜 カード |







製品の保証とサービス

本製品は、保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますので、ご注意ください。 ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障 ・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損 ・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステ ム、機器およびその他の異常

●修理の依頼

61ページ「修理の依頼」をお読みください。

●その他のご質問などに関して

61ページ「12.サポートサービスについて」をお読みください。

ユーザ登録

製品の導入が完了したらユーザ登録をおこなってください。お客様のユーザ登録 は、インターネットからのオンライン登録または付属のハガキで登録することが できます。

●オンラインでの登録

弊社ラニード・ホームページから登録が可能です。 ホームページアドレス:http://www.elecom-laneed.com

●付属のユーザ登録カードでの登録

必要事項をご記入の上、ご投函ください。品番とシリアル・ナンバーは控えてお いてください。裏面のアンケートにもお答えください。ご意見は、今後の製品開 発などに役立てていきます。



Lanee

本製品の特長

●アクセスポイント単独でも利用可能な無線ブロードバンドルータ

本製品は11Mbps無線LAN機能を搭載したブロードバンドルータです。無線 LANのアクセスポイント機能を装備しているので、無線LANを使ってケーブルレ スでパソコンからインターネットにアクセスできます。また、ルータ機能を切り 離して無線LANアクセスポイントの機能だけを使用するアクセスポイントモード にも対応しています。

●有線LANポートを装備、アクセスポイントモード時は2ポートに

10BASE-Tおよび100BASE-TX対応のLANポートを装備しています。無線ブ ロードバンドルータとして使用するときは、ひとつのLANポートにパソコンを1 台だけ接続することも、HUBを接続して複数のパソコンと接続することもできま す。また、アクセスポイントモード時はWANポートがLANポート(10Mbps固 定)に切り替わるので2ポートHUBとして使用できます。

●複数の有線LANとAP経由で接続が可能

互いに接続されていない複数の有線LANにそれぞれ本製品を接続すると、無線 LANを使って、セグメントの異なる複数のLANをつなぐことができる「ブルータ 機能」を利用できます。1対1はもちろん、複数の本製品の中で1台をマスターと し、残りをスレーブとして扱うことで1対nの接続も可能になります。

●PPPoEに対応

ルータ機能はPPPoE(PPP over Ethernet)に対応していますので、PPPoEによる認証が必要なインターネット・サービス・プロバイダにも自動的に接続できます。

●プロバイダと1契約で複数のパソコンからアクセス可能

NAT/IPマスカレード機能により、グローバルIPアドレスをローカルIPアドレス に自動的に変換します。これにより、ひとつのグローバルIPアドレスで複数のパ ソコンからインターネットへの同時アクセスができるようになります。プロバイ ダとは1契約だけでかまいません。

●TCP/IPプロトコルならWindowsマシン以外でもインターネットへ 接続可能

Windowsマシンに限らず、Macintosh、LinuxなどのOSからでもTCP/IPプロトコルが設定できるOSであれば、本製品を経由してインターネットに接続することができます。

●わずらわしい設定が不要なDHCPサーバ機能を搭載

DHCPサーバ機能により、各クライアントにローカルIPアドレスを自動的に割り 当てることができます。

●ブラウザ対応の設定ユーティリティによる簡単設定

専用ソフトを必要とせず、パソコンのブラウザからWeb設定ユーティリティにア クセスすることで各種設定ができます。

●各種セキュリティ機能を搭載

NAT/IPマスカレード機能により、通常はWAN側からLAN側のコンピュータに アクセスすることはできません。また、無線LANではWEP(40/60ビット互換 および128ビット)やMACアドレスフィルタリングに対応しています。

●バーチャルサーバ機能/RIPルーティングに対応

バーチャルサーバ機能を利用することでローカルネットワークにある特定のパソ コンだけにインターネットからのアクセスを許可することができます。これによ り特定のパソコンをサーバマシンとして使用することもできます。また、RIP2 を使ったルーティング機能に対応しています。

本製品の動作環境

●対応無線LANアダプタについて

弊社製11Mbps無線LAN製品と合わせてご使用いただけます。また、各社の 11Mbps無線LAN製品とも組み合わせてご利用いただける場合があります。使 用可能な無線LANアダプタの情報については弊社ラニードホームページなどをご 覧ください。

●ブロードバンドルータとしての対応

本製品のブロードバンド機能を使用する場合は、TCP/IPプロトコルを利用できるOSを搭載したコンピュータで使用できます。接続可能な回線事業者などの動作確認情報は、弊社ラニードホームページでご確認ください。

ラニードホームページ URL= http://www.elecom-laneed.com

3. 本製品の概要について

各部の名称とはたらき

■ ト 面



| 1 | PWRランプ | 本製品の電源が入っているときに点灯します。 |
|-----|---------------------|---|
| 2 | LANランプ | 有線側のLANポートとリンクが確立しているときに点灯します。 また、データを送受信しているときに点滅します。 |
| 3 | WANランプ | WAN(インターネット)側と接続しているときに点灯します。また、 インターネットとデータの送受信をしているときに点滅します。 |
| 4 | Wireless LNK ランプ | 無線LANとリンクが確立しているときに点灯します。 |
| (5) | Wireless ACT ランプ | 無線LANでデータを送受信しているときに点滅します。 |



| 6 | POWER | 本製品に付属のACアダプタの電源プラグを差し込みます。本製 品に付属のACアダプタ以外は絶対に使用しないでください。 |
|---|----------------|---|
| Ø | LAN 10/100M | 他のHUBやコンピュータを接続します。 |
| 8 | WAN 10M | ADSL/CATVモデムからのイーサネットケーブルを接続しま す。本製品を「アクセスポイントモード」で使用している場合 は10Mbps固定のLANポートとして機能します。 |
| 9 | RESET | 本製品を工場出荷時の初期状態に戻すときに使用します。 リセットの方法については60ページ「リセットの手順」をお読 みください。 |



本製品でインターネットを楽しむ場合は、以下の準備が完了していることを確認 してから接続作業を始めてください。

回線事業者/インターネット・サービス・プロバイダ(ISP)との契約

●回線工事は完了していますか?

ADSLのインターネット接続サービス業者との契約は完了していますか。また、 屋内までの配線工事は完了していることを確認してください。

●回線事業者/プロバイダと契約は完了していますか?

ADSL接続サービスでは、フレッツADSLのように回線事業者とは別にプロバイ ダとの契約が別途必要な場合があります。このような場合は、契約した回線事業 者で利用可能なプロバイダとADSL接続での契約をする必要があります。この契 約が完了していないと回線が接続されていてもインターネットへアクセスするこ とはできません。

●モデムなどの機器は準備できていますか?

ADSL/CATVモデムと本製品を接続する必要があります。モデムを別途購入されるように契約している場合は、対応モデムをご用意いただく必要があります。

●パソコン側の必要な機器は準備できていますか?

本製品と接続するネットワーク機器には無線LANアダプタまたはイーサネット ポートが搭載されている必要があります。コンピュータ本体などに内蔵されてい ない場合は、別途イーサネットアダプタなどをセットアップしてください。各機 器のセットアップ方法はそれぞれのマニュアルをお読みください。

●必要なケーブルをご用意ください

ご使用の環境に合わせて、必要なケーブルをご用意ください。

・モデム/終端装置~本製品間でストレートのイーサネットケーブルが1本必要です。
 ・本製品の有線LAN用のLANポートと接続するネットワーク機器の台数に合わせてのイーサネットケーブルが必要です。10Mbps環境で接続する場合は、カテゴリー3以上のケーブルをご用意ください。100Mbpsの場合は、カテゴリー5以上のケーブルをご用意ください。

設定に必要な情報の準備

本製品を設定するには、回線事業者/プロバイダから提供された情報が記載され た資料を準備しておいてください。

●一般的な情報の例

| 名 称※ | 内容 |
|-------------|---|
| IPアドレス | インターネットに接続するためのグローバルIPアドレスで す。IPアドレスを固定的に割り当てる場合に必要です。イン ターネットに接続したときにプロバイダが自動的に割り当て る場合は不要です。 |
| サブネットマスク | IPアドレスを固定的に割り当てる場合に必要です。 |
| デフォルトゲートウェイ | IPアドレスを固定的に割り当てる場合に必要です。 |
| DNSサーバアドレス | ご利用になるサービスによって必要な場合があります。プラ イマリとセカンダリの2種類があります。 |
| ドメイン名 | ご利用になるサービスによっては、設定が必要な場合があり ます。 |
| ユーザ名/パスワード | PPPoEで接続する場合に必要です。 |
| サービス名 | PPPoEで接続する場合に必要なことがあります。 |

●MACアドレスフィルタリング

ネットワークアダプタには、1台ごとに「MACアドレス」と呼ばれる固有の番号が 割り当てられており、世界中に同じMACアドレスを持つアダプタは存在しません。 そこで、アクセスを許可する無線LANアダプタのMACアドレスだけを登録する ことで、その他のMACアドレスを持った無線LANアダプタからはアクセスでき ないように制限することができます。この機能をMACアドレスフィルタリングま たはアクセスコントロールといいます。

•WEP(Wired Equivalent Privacy)

ESS IDやMACアドレスフィルタリングは、不正アクセスを防止するための機能 ですが、それだけでは特殊な装置を持った第三者に意図的に盗聴される恐れがあ ります。本製品では、さらにセキュリティを高めるために、WEPという機能を利 用できます。WEPはデータを暗号化する機能で、暗号の元になるキーワードをひ とつ決め、そのキーワードから作成された数値をキーとして暗号に利用します。 同じネットワークの利用者だけに暗号を知らせることで、たとえ第三者が電波を 盗聴してもデータを解読することができなくなります。

※これらの情報の名称は回線事業者/プロバイダによって異なります。

無線LANのセキュリティについて

無線LANは電波でデータを送受信するので、知らない間にネットワークに不正ア クセスされたり、電波を盗聴される可能性があります。本製品(アクセスポイン ト)や無線LANアダプタは不正アクセスや盗聴を防止するためのさまざまなセ キュリティ機能を備えています。

●ESS ID(Extended Service Set ID)

もし、隣のオフィスで同じ製品もしくは同じ帯域を利用する無線LANを使用する と、ネットワークそのものが混信する恐れがあります。そこで他のネットワーク と自分たちのネットワークを区別するためにESS IDと呼ばれるネットワークの 名称を決めます。同じネットワークに所属するコンピュータには同じESS IDを 設定することで、他のESS IDを持ったネットワークとは区別され、不正アクセ スを防ぐことができます。



本製品の接続方法について説明します。ここでは本製品をルータモードおよび PPPoEモードで使用する場合と、アクセスポイントモードで使用する場合に分けて説明します。

111220

ルータモードまたはPPPoEモードで使用するとき

すべての機器の電源が切れていることを確認します。

2

ご契約された接続方法に合わせて回線とモデムを接続し、さらに本製品を接続します。

・ブロードバンド回線とブロードバンドモデムを接続します。

・ブロードバンドモデムのLAN側のポートと本製品のWANポートをLANケーブ ルで接続します。



※ADSL回線の場合、ADSL回線の回線ポートとADSLモデムの間に、アナログ電話機と ADSL回線を分岐するためのスプリッタが接続されている場合があります。





4 本製品に付属のACアダプタをACコンセントに差し込み、電源プラグを本製品の DCジャック(POWER)に差し込みます。



5 ブロードバンドモデムの電源を入れます。

5 本製品の上面パネルにあるランプを確認します。

・本製品の起動には30秒ほどかかります。

- ・ブロードバンドモデムと本製品の電源が入った状態でWANランプが点灯していることを確認します。
- ・有線LANを接続している場合は、有線LAN上のコンピュータの電源が入った状態でLANランプが点灯していることを確認します。無線LANを使用している場合は、無線LAN上のコンピュータを起動してWireless LNKランプが点灯していることを確かめます。

MEMO WANランプが点灯しない場合は・・・

①ブロードバンドモデムにあるWANとの接続を示すランプが点灯しているか 確認してください。点灯していない場合は、WAN側と正しく接続されていま せん。

②ケーブルのコネクタがしっかりと差し込まれているかを確認してください。
③ブロードバンドモデムにあるMDI-Xスイッチ(結線のストレートとクロス接続を 切り替えるスイッチ)を切り替えて点灯するかどうか確認してください。点灯し た場合はそのままの設定にしてください。

LNKランプが点灯しない場合は・・・

①ケーブルのコネクタがしっかりと差し込まれているかを確認してください。
 ※HUBと接続する場合はクロスケーブルが必要な場合があります。
 ②コンピュータのデバイスマネージャでアダプタが正常に動作しているか確認してください。

アクセスポイントモードで使用するとき

本製品を無線LANのアクセスポイントとしてのみ使用するときの一般的な接続例 を説明します。アクセスポイントモードでは、背面の「WANポート」を 10Mbps固定LANポートとして使用することができ、2台までの有線LAN機器 を直接つなぐことができます。

мемо

本製品を複数用意して、セグメントの異なる複数の有線LAN間を無線で接続する 「ブルータ機能」をご使用になる場合は、55ページ「10.ブルータ機能を使う」 をお読みください。



※WANポートは10Mbps固定のLANポートになります。



本製品のルータモードおよびPPPoEモードを使ってインターネットに接続する 場合は、各コンピュータに対してTCP/IPプロトコルに関する設定が必要になり ます。ここでは、TCP/IPプロトコルの設定を確認する方法を説明します。すで にTCP/IPの設定が完了している場合は、26ページ「7.インターネットへ接続す る」へ進みます。

MEMO 有線LANでの接続については、TCP/IPプロトコルを使用できるコンピュータで あればOSを問わず本製品を利用してインターネットに接続することができます。

Windows XPでの設定

Windows XPでのTCP/IPに関する設定について説明します。なお、画面例は Windows XP Home Editionを使用しています。

LANアダプタの動作を確認する

各コンピュータのLANアダプタが正常に動作しているかを確認します。

- 【1 [スタート]→[コントロールパネル]を選択します。〈コントロールパネル〉画面の「作業する分野を選びます」にある「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。
 - 〈プリンタとその他のハードウェア〉画面の左フレームの「関連項目」にある 「システム」をクリックします。





〈システムのプロパティ〉画面の【ハードウェア】タブを選択し、「デバイスマネー ジャ]の デバイスマネージャ ボタンをクリックします。



〈デバイスマネージャ〉画面で、ネットワークアダプタが正常に動作しているこ とを確認します。



- ·×や!マークが表示されている場合、ネットワークアダプタは正常に動作して いません。ネットワークアダプタのマニュアルをお読みになり、正常に動作す るように設定をやり直してください。
- 〈デバイスマネージャ〉画面を閉じるには、
 ※をクリックします。
- 5 続いて、次の「TCP/IPプロトコルを確認する」へ進みます。

TCP/IPプロトコルを確認する



2 〈ネットワークとインターネット接続〉画面で「ネットワーク接続」をクリック します。

3 「ローカルエリア接続」を選択し、「ファイル]→「プロパティ]を選択します。 - E 2 🔍 ネットワーク接続 ファイルメニューを開いて、 ファイル(E) 編集(E) 表示(U) お気に入り(A) ツール(E) 詳細設定(A [プロパティ]を選択 🔇 戻る • 🕥 · 🎓 🔎 検索 🏳 フォルダ 💷 • LAN または高速インターネット ネットワーク タスク 選択する 🔄 新しい接続を作成する ホーム/小規模オフィスのネットワークをヤットアップする ● このネットワーク デバイスを無 ・〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面が表示されます。 一覧にTCP/IPプロトコルが登録されて、有効になっていることを確認します。

| この接続は次の項目を使用します(Q): | |
|--|------------|
| ■ Microsoft ネットワーク用クライアント ■ Microsoft ネットワーク用フライルとプレック共有 | |
| □ □ □ 000 // 07±7 2/5/3-5 □ □ □ 000 // 07±7 2/5/3-5 □ □ 07-7>9-7>0-7>0-7>0-7>0-7>0-7>0-7>0-7>0-7>0-7>0 | 確認する 〕 |
| インストール(M) 削除(U) プロパティ(B) | |

・無効□になっている場合は、□をクリックして有効
 にしてください。



●ご使用の環境により実際に一覧に表示されるイーサネットアダプタの名称や コンポーネントの内容は、この画面例とは異なります。

●アダプタがひとつしかない場合は、「TCP/IP」とだけ表示されます。 ダイヤル アップアダプタなどがあるため、アダプタ名が複数ある場合は、「TCP/IP-> (アダプタ名)|というように表示されます。(アダプタ名)に、ご使用中のイー サネットアダプタのアダプタ名が表示された「TCP/IP」プロトコルがあるこ とを確認してください。



5 続いて、次の「IPアドレスの設定を確認する」へ進みます。

IPアドレスの設定を確認する

〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面を表示した状態で、そのままIPアドレスの設定を確認します。



【全般】タブの一覧でTCP/IPプロトコルを選択し、 プロパティ がタンをクリッ クします。



2

【全般】タブにある「IPアドレスを自動的に取得する」を選択し、OK ボタン をクリックします。

| インターネット ブロトコル (TCP/IP)のブロパティ ?▼ 全校 【代替の構成】 | |
|--|----------|
| ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、PP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に通切な PP 設定を問い合わせ てください。 | |
| ◎ IP アドレスを自動的に取得する(Q) ○ 次の IP アドレスを使う(S). | ここを選択 |
| IP アドレス(): サブネット マスク(1): | |
| デフォルト ゲートウェイ (D): | |
| ◎ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(2) ○ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(2) | |
| 優先 DNS サーバー(P) | |
| 17留 DNS サーハー(A): | |
| | 3 |
| OK + ++>EH | <u> </u> |

MEMO DHCPサーバーを使用しない場合

IPアドレスを固定する必要がある場合などDHCPサーバーを使用しないときは、 「次のIPアドレスを使う」を選択し、「IPアドレス」「サブネットマスク」を設定 してください。必要に応じて、「デフォルトゲートウェイ」「優先DNSサーバー」 「代替DNSサーバー」も設定してください。

Windows Me/98での設定

Windows Me/98でのTCP/IPに関する設定について説明します。なお、画面例 はWindows Meを使用しています。Windows 98の画面と一部名称等が異なり ますが設定する内容については同じです。

LANアダプタの動作を確認する

各コンピュータのLANアダプタが正常に動作しているかを確認します。

- 1 デスクトップ画面にある[マイコンピュータ]を右クリックし、メニューの中から [プロパティ]をクリックします。
- 2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、[ネットワークアダプタ]の + をダブ ルクリックします。ネットワークアダプタの名称が表示されていることを確かめ ます。



- ・×や!マークが表示されている場合、ネットワークアダプタは正常に動作していません。ネットワークアダプタのマニュアルをお読みになり、正常に動作するように設定をやり直してください。
- ・ご使用の環境によっては「ダイヤルアップアダプタ」が表示されますが、これ はLANアダプタではありません。必ずLANアダプタが登録されていることを確 認してください。
- 、<システムのプロパティ〉画面を閉じるには、
 OK
 ボタンをクリックします。

3 続いて、次の「TCP/IPプロトコルを確認する」へ進みます。

TCP/IPプロトコルを登録する

利用するプロトコルとしてTCP/IPが登録されていることを確認します。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択し、コントロールパネルにある「ネットワーク」をダブルクリックします。

見愛 ネットワーク

- ・〈ネットワーク〉画面が表示されます。
- ・Windows Meでよく使うコントロールパネルだけが表示されている場合は、 「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックすると 「ネットワーク」が表示されます。

.2

「現在のネットワークコンポーネント」の一覧にTCP/IPプロトコルが登録され ていることを確認します。





●ご使用の環境により実際に一覧に表示されるイーサネットアダプタの名称や コンポーネントの内容は、この画面例とは異なります。

 アダプタがひとつしかない場合は、「TCP/IP」とだけ表示されます。ダイヤル アップアダプタなどがあるため、アダプタ名が複数ある場合は、「TCP/IP-> (アダプタ名)」というように表示されます。(アダプタ名)に、ご使用中のイー サネットアダプタのアダプタ名が表示された「TCP/IP」プロトコルがあるこ とを確認してください。

MEMO TCP/IPが登録されていない場合は・・・

【ネットワークの設定】タブを表示した状態で
 道加 ボタンをクリックします。
 ②一覧から「プロトコル」を選択し、
 道加 ボタンをクリックします。
 ③「製造元」で「Microsoft」を選択すると、プロトコルの一覧が表示されます。
 ④プロトコルの一覧から、「TCP/IP」を選択し、
 OK ボタンをクリックします。
 「現在のネットワークコンポーネント」にTCP/IPプロトコルが追加されます。

- MEMO ⑤ネットワーク画面を閉じるときに、Windows CD-ROMを要求されることがあ ります。この場合は、Windows CD-ROMをドライブに挿入し、メッセージに 従ってください。
 - ⑥再起動を促すメッセージが表示されますので、再起動します。

IPアドレスの設定を確認する

〈ネットワーク〉画面を表示した状態で、そのままIPアドレスの設定を確認します。

「現在のネットワークコンポーネント」の一覧でTCP/IPプロトコルを選択し、
 「フロパティ」ボタンをクリックします。



MEMO TCP/IPプロトコルが複数登録されている場合

ダイヤルアップアダプタなどが登録されているため、複数のTCP/IPプロトコル が表示されていることがあります。このような場合は、本製品と接続している イーサネットアダプタ名称のTCP/IPを選択します。

【IPアドレス】タブを表示します。通常は「IPアドレスを自動的に取得」を選択し、OK」ボタンをクリックします。



MEMO DHCPサーバを使用しない場合

IPアドレスを固定する必要がある場合などDHCPサーバを使用しないときは、 「IPアドレスを指定」を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを設定してくだ さい。

その他のOSでの設定

Windows 2000/NT 4.0などでの設定

Windows 2000およびWindows NT 4.0でご使用になる場合は、

①各コンピュータのLANアダプタが正常に動作していることを確認します。

②サーバおよび各クライアントのネットワーク設定でTCP/IPプロトコルが設定 されていることを確認します。また、本製品および各クライアントのIPアドレ スの設定がご使用になるネットワーク環境に適応した内容になっていることを 確認してください。なお、本製品をクライアントとして使用する場合は、 DHCPサーバ機能を「無効」にし、ご使用になるネットワーク環境に合わせて IPアドレスを割り当ててください。

●設定画面の表示方法

 ・Windows 2000では、[スタート]→[設定]→[ネットワークとダイヤルアップ 接続]を選択し、「ローカルエリアの接続」をマウスで右クリックしてプロパ ティを表示します。なお、表示名称は異なることがあります。

・Windows NT 4.0では、コントロールパネルの「ネットワーク」を選択します。

Mac OSでの設定

Mac OSではMac OS Xとそれ以前のOSで設定画面の表示方法がことなります。 ご使用になるOSに合わせてお読みください。

■Mac OS 8.xおよび9.xの場合

コントロールパネルにある「TCP/IP」を開き、[経由先]を「Ethernet」または 「内蔵Ethernet」に設定し、[設定方法]を「DHCPサーバを参照」に設定してく ださい。



■Mac OS Xの場合

次の手順で設定してください。

①[アップルメニュー]→[システム環境設定]を選択します。
 ②〈システム環境設定〉画面で[ネットワーク]をクリックします。
 ※ツールバーに[ネットワーク]が表示されていない場合は、[すべてを表示]をクリックします。
 ③[ネットワーク]の「設定」で「(内蔵)Ethernet」を選択します。
 ④【TCP/IP】タブの「設定」で「DHCPサーバを参照」を選択します。
 ⑤【保存】ボタンをクリックします。





インターネットに接続できるように基本的な設定をおこないます。ご契約された 回線事業者/プロバイダから提供された情報をご用意ください。設定が終われば インターネットに接続できるかをテストします。

MEMO すでにネットワークを使用している場合

・既存のネットワークが手動でIPアドレスを設定している場合は、そのままでは 本製品にアクセスすることができません。本製品のDHCPサーバ機能をお使い になることをお勧めします。本製品のDHCPサーバ機能を使用する場合は、既 存のネットワーク上のLANアダプタのTCP/IP設定を、「IPアドレスを自動的に 取得しするように設定してください。設定方法は17ページ「6.コンピュータ 側の設定をする」のTCP/IP設定の説明をお読みください。

・本製品のDHCPサーバを使用しない場合は、本製品の[LANポート設定](42 ページ参照)でIPアドレスなどを既存のネットワークに合わせてください。

設定をはじめる前に

本製品の設定は、ネットワーク上のコンピュータからInternet Explorerなどの Webブラウザを使って設定ユーティリティにアクセスしておこないます。このと き、ネットワーク上に本製品と有線LANでつながったコンピュータがあるかない かで、設定の手順が異なります。

●本製品に有線LANでつながったコンピュータがある場合

ご使用のネットワークに本製品と有線LANによって接続されたコンピュータがあ る場合は、そのコンピュータから設定するようにしてください。

●本製品に有線LANでつながったコンピュータがない場合

無線LANを経由して本製品の設定ユーティリティにアクセスすることができま す。この場合は、先に32ページ「8.無線LANを使う」をお読みになり、無線 LANで接続するコンピュータの無線LAN設定を確認してください。

設定ユーティリティを表示する



Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。

ブラウザのアドレス入力欄に「http://192.168.1.254」と入力したあと、 Enterキーを押します。



・1度アクセスしてIPアドレスを変更している場合は、変更後のIPアドレスを入 カレます。

正常に接続するとログイン画面が表示されます。はじめて接続したときは、ユー 3 ザー名は入力せずにパスワードにだけ「12345」と入力し、OK ボタンをク リックします。



・パスワードは半角英数字の「12345」を入力します。 ·2回目以降、パスワードを設定しているときは、パスワードを入力して **ログイン** ボタンをクリックします。





<u>基本設定をおこなう</u>

〈簡単設定〉画面を使って基本設定をおこないます。お手元にご契約の回線事業 者/プロバイダから提供された設定資料をご用意ください。





2

〈簡単設定〉画面が表示されます。これから無線LANを導入する場合は、ここで は設定しません。既存の無線LANがある場合だけESS IDを入力します。

| | 簡単設定 | |
|--------|--------|---|
| ESSID: | Laneed | |
| | | ~ |

・ESS IDに使用できる文字は半角英数字と「-」「」してす。文字数は32文字ま です。大文字/小文字が区別されますので注意してください。 ・本製品および本製品に接続する無線LANグループのコンピュータにはすべて同 じESS IDを設定する必要があります。



無線LAN経由で本製品の設定ユーティリティに接続している場合は、本製品の ESS IDを変更して再起動した時点で、本製品にアクセスしているコンピュータ のESS IDを本製品と同じESS IDに変更してください。コンピュータのESS IDが変更前の状態だと本製品にアクセスできなくなります。

3 動作モードを設定します。

| 簡単設定 |
|---|
| ESSID: Laneed |
| ○アクセスポイント モード |
| (アクセスポイント+2ポートHUBとして動作します。) |
| ○ルータ モード |
| (WAN側ボートの接続先の報告がDHCPサーバ報能を持つモデム またはCATVモデムの場合に選択してください。) |
| ⊙ ₽₽₽₀E ᠽ ─ ⊧ |
| 以下の設定は、PPPoEモードをご使用の場合のみ有効です: |
| アカウント(ユーザ名): yamada5731@laneed.net |
| パスワード: |
| ОК |

| アクセスポイント モード | 無線LANのアクセスポイント機能だけを使用する場合に選択しま す。ルータ機能はすべて無効になります。 |
|-----------------|---|
| ルータモード | インターネットに接続するときに、PPPoE接続を使用しない回線 事業者の場合に選択します。 |
| PPPoEモード | フレッツADSLサービスなどPPPoE接続のADSLサービスの場合 に選択します。PPPoEモードを選択した場合は、回線事業者から 提供されたアカウントおよびパスワードを入力します。 |

●次のような回線事業者と契約している場合は簡単設定の完了後、WANポー トの設定が必要です。

- ・一部のCATVサービスのように固定IPアドレスを指定するように指示があ る場合
- ・固定のグローバルIPアドレスを取得するサービスをご利用の場合
- · PPPoE接続でサービス名およびDNSサーバのいずれか一方でも設定が必 要な場合

これらの条件に当てはまる場合は、簡単設定を完了したあと、40ページ 「WANポート設定」で必要な項目を設定してください。



再起動中のランプ表示の動作が終わるまでは、絶対に本製品の電源を切らない でください。再起動中に電源を切るとファームウェアが壊れて起動できなくな る恐れがあります。



ブラウザの更新ボタン 🖉 をクリックすると、保存した設定が反映された〈シス テムステータス〉画面が表示されます。

| システム | ステータス |
|--------------|--------------|
| ESSID : | Laneed |
| アクセスボイント名: | Laneed AP-01 |
| アクセスポイントモード: | Master |
| WEP : | 使用しない |
| 無線チャンネル: | 6 |
| NAPT: | 有効 |
| DHCPサーバ: | 有効 |
| 動作モード: | 自動 |

これでインターネットへの接続に関する基本設定は完了です。インターネットに 接続できるかを確認します。次ページの「インターネットに接続する」へ進みます。

基本設定が終わればインターネットに接続できるかをテストします。

Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。

2 設定画面で任意のホームページアドレスを入力し、キーボードの Enter キーを 押します。



※画面例の表示内容は更新により、変更されることがあります。

目的のホームページが表示されれば設定は完了です。正常に表示されない場合は、 56ページ「11.こんなときは」をお読みください。

他の詳細な設定項目については、38ページ「9.設定画面のリファレンス」を お読みください。



Lander

本製品は無線LANのアクセスポイントとして機能します。本製品に対応した無線 LANアダプタを別途ご用意いただくと、ケーブルレスでインターネットを楽しん だり、ネットワーク上のコンピュータとデータのやり取りができます。

無線LANだけで本製品を使う場合の注意

●導入時の注意

無線LANだけで本製品を使う場合、本製品と接続できる手段は無線LANアダプタ を取り付けたコンピュータからの接続だけになります。この場合、本製品と無線 LANのコンピュータ間で、ESS IDなど無線LANの設定が異なると接続すること ができません。無線LANが使えないと本製品の設定ユーティリティにアクセスで きないため本製品側の無線LANの設定を変更することができません。そのため、 無線LANだけの環境で本製品を使う場合は、次のような手順で無線LANの設定を おこなってください。詳しい手順は次ページの「無線LANで接続する」をお読み ください。

ご使用になるコンピュータに無線LANアダプタのドライバをインストールし、 必要なネットワーク設定が完了した状態にします。



●設定変更時の注意

ESS IDおよびWEPを変更する場合は、先に本製品側の設定を変更し、次に無線 LANアダプタ側の設定を変更します。先に無線LANアダプタ側の設定を変更する と、本製品の設定が変更前の状態のままなので、無線LANからは設定ユーティリ ティにアクセスできなくなります。



本製品の設定を 変更します。

いるので、変更後の設定で無線 LANを使って接続できます。

本製品の設定の変更は、無線LANからアクセスして変更できます。ただし、変更 した設定を保存し、再起動した時点で本製品と無線LANアダプタとの間で設定内 容が異なるため、無線LANアダプタの設定を変更するまで接続できなくなります。

無線LANで接続する

無線LANアダプタを取り付けたコンピュータが無線LAN経由で本製品に接続でき るように設定します。

1 あらかじめ無線LANで接続するコンピュータについて、無線LANアダプタが正常に動作するように設定しておきます。

- ・ドライバのインストールを完了しておきます。ドライバのインストールについては、アダプタのマニュアルをお読みください。
- ・プロトコルにTCP/IPが設定されていることを確認しておきます (→17~25ページ)。
- 「IPアドレスアドレスを自動的に取得」に設定されていることを確認します
 (→17~25ページ)。







弊社の無線LAN製品Air@Hawkシリーズの無線LAN PCカードと無線LAN USB アダプタは、初期値のまま設定を変更しないでください。そのままの設定で本製 品に接続することができます。

本製品の電源が入っていることを確認します。

無線LANアダプタを取り付けたコンピュータを起動します。

- Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。

5

6 アドレスに「http://192.168.1.254」と入力し、キーボードの Enter キー を押します。

| 🗿 about:blank – Microsoft Internet Explorer | |
|--|--------|
| ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(D) ヘルプ(H) 👔 | |
| 🕝 戻る · 😥 · 📓 🙆 🏠 🔎 核素 🏠 お気に入り 🔮 メディア 🧭 🔗 - 🌺 🚍 | |
| アドレス(1) http://192.168.1.254 | ─ 入力する |
| | |

本製品の設定ユーティリティのパスワード画面が表示されれば、無線LANは正常 に動作しています。

| 92.168.1.254 (2 | 接続 | ?× |
|-----------------------|------------------|------------------------|
| Elecom Access Po | nt | |
| ユーリールロット パスワード(E): | ***** | ~ |
| | パスワードを記憶する OK | (B) <i>\$*7\t1\</i> |

これで無線LANでの接続を確認できました。ESS IDが初期値のままだと、混信 や不正アクセスの原因になりますので、必要に応じてESS IDを変更してくだ さい。

ESS-IDを変更する

無線LANの混信や不正アクセスを防ぐため、ESS-IDを初期値から別の内容に変 更します。



本製品の設定ユーティリティに無線LANからアクセスしている場合は、必ず先 に本製品側の設定を変更し、次に無線LANアダプタ側の設定を変更してくださ い。→33ページ「設定変更時の注意」参照



- 本製品の設定ユーティリティを起動します。パスワード画面でユーザー名とパス ワードを入力し、OK ボタンをクリックします。
- 2 左フレームのメニューにある[詳細設定]をクリックすると、詳細設定のメニュー が表示されます。メニューの「無線LAN基本設定]をクリックします。

Δ

6



・ESS IDを半角英数字32文字以内で入力します。大文字と小文字が区別されます。

MEMO 本製品のESS IDと本製品に無線LAN経由でアクセスするべてのコンピュータの ESS IDは同じ名称にする必要があります。本製品とESS IDの異なるコンピュー タは本製品に無線LAN経由でアクセスすることはできません。例えば、本製品の ESS IDを「Tokyo」に設定した場合は、無線LANアダプタのESS IDが 「Tokyo」のコンピュータは接続できますが、無線LANアダプタのESS IDが 「Osaka」のコンピュータは接続できません。

「設定は変更されました。」とメッセージが表示されますので、左フレームのメ ニューから[設定保存]をクリックします。







しばらくすると、「設定は変更されました」とメッセージが表示されます。これ で設定が保存されました。

7 ブラウザの更新ボタン をクリックして、〈システムステータス〉画面に戻り ます。

8 無線LANアダプタの設定ユーティリティを起動し、アダプタ側のESS IDを本製 品と同じESS IDに変更します。

◆弊社LD-WL11/PCCでの設定例

| 1 | ▶ ネットワーク設定 | _ 🗆 × |
|---|--------------------------|----------------------|
| | ESS ID | |
| | ○ 設定しない | |
| | 設定する | YamADAfAMilY |
| | アクセスポイントリストです。(BSSID): | 00:00:00:00:00:00 検索 |
| | 通信モード | |
| | ◎ アクセスポイントを使用する(インフラス | トラクチャ・モード〉 |
| | ○ アクセスポイントを使用しないくアドホッ | ク・モード〉 |
| | ○ 802.11 アドホック | |



これで、新しいESS IDで本製品と無線LANアダプタが接続できるようになります。

より高度なセキュリティ機能として、MACアドレスフィルタリングやWEP を設定することができます。各機能の意味については12ページ「無線LANの セキュリティについて」をお読みください。設定方法については次ページ以 降の「9.設定画面のリファレンス」をお読みください。



本製品には多くの機能があります。これらの機能を利用すると、より有効にイン ターネットや無線LANを利用できます。ここでは画面別に各機能について説明し ています。

変更した設定の保存方法

設定を変更した場合に変更した項目によっては、設定を保存する操作が必要な場合があります。その場合は、次の手順に従って操作してください。

設定の変更が終われば、各画面の下方にあるOK ボタンをクリックします。

| 終了アドレス:192.168.1. 200(1~254) | |
|------------------------------|---------|
| DNSサーバ: 192.168.1.254 | |
| ОК | <u></u> |

2

1

「設定保存」を実行するようにメッセージが表示されますので、右フレームのメ ニューから[設定保存]をクリックします。



| 3 | 〈設定保存〉画面が表示されますので、 保存 ボタンを | モクリックします 。 |
|---|---|-------------------|
| | 設定保存 | |
| | 現在の設定をフラッシュROMに保存します。 設定の保存には救い務住どかかりますのでそのまましばらくお待ちください。 保存中に本要品の電気を巻とすと複雑の最同に広りますのでご注意ください。 | |
| | 保存 【 | |

4 しばらくすると、「設定は変更されました」とメッセージが表示されます。これ で設定が保存されました。

設定は変更されました

5 ブラウザの更新ボタン ごをクリックして、〈システムステータス〉 画面に戻ります。

システムステータス

本製品の設定状況を表示します。

| システム ステータス |
|---------------------------------|
| ESSID : Laneed |
| アクセスポイント名:Laneed AP-01 |
| アクセスポイントモード:Master |
| WEP:使用しない |
| 無線チャンネル:6 |
| NAPT:有効 |
| DHCPサーバ:有効 |
| 動作モード:自動 |
| IPアドレス(WANボート): 0.0.0.0 |
| サブネットマスク(WANボート): 0.0.0.0 |
| IPアドレス(LANポート): 192.168.1.254 |
| サブネットマスク(LANボート): 255.255.255.0 |
| デフォルトゲートウェイ: |
| DNSサーバ: 192.168.1.254 |
| ファームウェア バージョン:1.0.0.3/1.0.0.3J |
| MACアドレス(WANボート): 00: |
| MACアドレス(LANボート):00: |
| MACアドレス(無線ボート):00: |
| |

9. 設定画面のリファレンス

WANポート設定

WANポートの詳細な設定をする画面です。設定画面を表示するには左フレームのメニューにある[詳細設定]→[WANポート設定]を選択します。

MEMO 設定を変更した場合は・・・

設定を変更した場合は、必ず **OK** ボタンをクリックしてください。そのあとは 設定を保存する操作を実行してください。操作手順は38ページ「変更した設定 の保存方法」をお読みください。

アクセスポイントモード

ルータ機能を使用しません。アクセスポイント+2ポートHUBとして機能します。

WANポート設定

◎アクセスポイント モード

(アクセスポイント+2ポートHUBとして動作します。)

ルータモード

ADSLサービスにおけるPPPoE接続でない回線事業者/プロバイダおよびCATV インターネットサービスを利用する場合は、ルータモードにチェックを入れて 有効にします。さらに、回線事業者の接続形態に合わせて必要な設定をおこない ます。

| ◎ルータ モード | ✓ NAPTを有効にする |
|------------|--------------|
| ◎ ロアドレスを自 | 動的に取得 |
| ○ IPアドレスを推 | 定: |
| IP | アドレス: |
| サブネッ | F727 |
| デフォルトゲー | -hウェイ : |

●NAPTを有効にする

NAT機能を使用するか、しないかを指定します。有効を選択した場合はNAT機能を使用します。NAT機能の詳しい説明は44ページ「NAT(NAPT)設定」をお読みください。

●IPアドレスを自動的に取得

接続時にIPアドレスを自動的に割り当てるタイプ(動的IPアドレス)の回線事業者/ プロバイダと契約している場合に選択します。

●IPアドレスを指定

回線事業者からIPアドレス等を指定されている場合に選択します。回線事業者/ プロバイダより提供された契約資料をお読みになり、IPアドレス等を入力してく ださい。

PPPoEモード

ADSLサービスでの接続方式にPPPoE接続を使用している場合にチェックを入れて有効にします。

| ◎ PPP₀Eモード ☑ NAPTを有効にする |
|--------------------------------|
| 以下の設定は、PPPoEモードご使用の場合のみ有効です: |
| サービス名(オブショ ン): |
| アカウント(ユーザ名): yamada@laneed.net |
| パスワード: |
| プライマリDNSサー バ:202 |
| セカンダリDNSサー バ:2022 |

●NAPTを有効にする

NAT機能を使用するか、しないかを指定します。有効を選択した場合はNAT機能を使用します。NAT機能の詳しい説明は44ページ「NAT(NAPT)設定」をお読みください。

●サービス名(オプション)

通常は入力の必要はありません。プロバイダより指示があった場合に入力します。

●アカウント(ユーザ名)

回線事業者より提供されたアカウントを入力します。アカウントは回線事業者に よってはユーザ名やIDなどと表記されている場合があります。

●パスワード

回線事業者より提供されたパスワードを入力します。

●プライマリDNSサーバ/セカンダリDNSサーバ

回線事業者によっては、あらかじめDNSサーバのアドレスを指定しなければならない場合あります。回線事業者よりDNSサーバのアドレスを入力するように指示がある場合は記載されたアドレスを入力します。

LANポート設定

LAN側の設定をします。すでにご使用になっている有線LANおよび無線LANが ある場合は、それらのLANと設定を合わせる必要があります。設定画面を表示す るには左フレームのメニューにある[詳細設定]→[LANポート設定]を選択します。

| LANポート設定 |
|--|
| ₽7ドレス:192, 168, 1 , 254 サブネットマスク:255, 255, 255, 0 |
| OK |
| |



設定を変更した場合は・・・

設定を変更した場合は、必ず **OK** ボタンをクリックしてください。

●IPアドレス

本製品のIPアドレスを設定します。すでにご使用中のLANがある場合は、既存の LANで使用しているIPアドレスに合わせて設定します。既存のLANがない場合は、 特に変更の必要はありません。

●サブネットマスク

本製品が使用するネットワークのサブネットマスクを設定します。すでにご使用 中のLANがある場合は、既存のLANで使用しているサブネットマスクに合わせて 設定します。既存のLANがない場合は、特に変更の必要はありません。

DHCPサーバ設定

インターネットに接続するにはTCP/IPというプロトコルを使用します。TCP/IP プロトコルはネットワークに接続されたクライアント(コンピュータなど)を区別 するために、クライアントごとに異なるIPアドレスが必要です。DHCPサーバ機 能は、このIPアドレスをクライアントごとに設定しなくても、自動的に割り当て ることができる機能です。特に無効にするように指示がない限り、有効に設定し てください。設定画面を表示するには左フレームのメニューにある[詳細設定]→ [DHCPサーバポート設定]を選択します。

| DHCPサーバ設定 |
|---|
| DHCPサーバ機能:④ 有効 〇 無効 |
| ○₽アドレス ブールを範囲を指定しない |
| ●Pアドレス ブールの範囲を指定する |
| 開始アドレス: 192.168.1. 101 _(1~254) |
| 終了アドレス: 192.168.1. 150 (1~254) |
| DNSサーバ: 192, 168, 1, 254 |
| ОК |
| |

MEMO 設定を変更した場合は・・・

設定を変更した場合は、必ず **OK** ボタンをクリックしてください。そのあとは 設定を保存する操作を実行してください。操作手順は38ページ「変更した設定 の保存方法」をお読みください。

●DHCPサーバ機能

本製品のDHCPサーバ機能の有効/無効を設定します。

●IPアドレス プールの範囲を指定しない

DHCPサーバが設定可能なすべてのIPアドレスの範囲(1~254)で自動的にIPアドレスを割り当てて良い場合はこちらを選択します。

IPアドレスのプールが必要な場合とは・・・

クライアントになるネットワーク機器の中には、DHCPサーバから自動的にIPア ドレスを割り当てることができないものがあります。このようなネットワーク機 器は、機器側で固定のIPアドレスを割り当てる必要があります。固定のIPアドレ スを持つネットワーク機器がある場合は、DHCPサーバが自動的に同じIPアドレ スを割り当てないように、そのIPアドレスの範囲を避けて割り当てるように範囲 設定をする必要があります。

●IPアドレス プールの範囲を指定する

DHCPサーバから自動的にIPアドレスを割り当てることができないネットワーク 機器がある場合にこちらを選択します。こちらを選択した場合は、固定IPアドレ スのためにプールするIPアドレスの開始アドレスと終了アドレスを入力します。 **固定IPアドレスを必要とするネットワーク機器は、ここで指定した範囲内のIPアドレスを 割り当てます。

●DNSサーバ

通常、接続時に本製品が自動でDNSサーバのアドレスを取得します。各クライ アントに対しては本製品が代理DNSとして動作します。ただし、プロバイダより DNSサーバのアドレスが公開されている場合は、ここに公開されているアドレス を入力します。

NAT(NAPT)設定

インターネットで使用するグローバルIPアドレスをLANで使用するローカルIPア ドレスに変換するNAT機能について設定します。設定画面を表示するには左フ レームのメニューにある[詳細設定]→[NAT(NAPT)設定]を選択します。

MEMO 設定を変更した場合は・・・

設定を変更した場合は、必ず **OK** ボタンをクリックしてください。そのあとは 設定を保存する操作を実行してください。操作手順は38ページ「変更した設定 の保存方法」をお読みください。

●NAT(NAPT)設定

NAT機能を使用するか、しないかを指定します。有効を選択した場合はNAT機能を使用します。



バーチャルサーバ設定

バーチャルサーバ機能は、LAN上にあるクライアント(コンピュータ)をインター ネットサービスに開放することができる機能です。通常NAT変換を利用するルー タでは、WAN側(インターネット側)からLAN上のクライアントにアクセスする ことはできませんが、バーチャルサーバ機能を利用すると本製品のWAN側に対 する接続要求をLAN側の特定のクライアントに転送することができます。 インターネットではサービスごとに接続ポートが決められているので、あらかじ め各サービス(ポート)に接続するクライアントを登録しておくことで、WAN側に 接続要求があった場合に、ポートに対応したクライアントに転送することができ ます。

| バーチャルサーバ設定(NAPT Inbound Rules) | |
|--------------------------------|--|
| | |
| (取人豆蚜奴=24) | |
| | |
| ホード曲ち:ノロビール/2:○○ | |
| プライベートIPアドレス: | |
| | |
| | |
| PortProto_Server IP eddress_ | |
| POIC-PIOCO-JEIVEI IF address- | |
| 00 ICF 152.100.1.101 | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| ОК | |
| | |



バーチャルサーバ機能で使用するコンピュータのIPアドレスは固定IPアドレス を割り当てるように設定してください。

■設定の方法

①接続を許可するポート番号とプロトコルの種類(TCPまたはUTP)を指定します。 ②ポートを開放するクライアント(コンピュータ)のIPアドレスを入力します。



→次ページへつづく

③ **追加** ボタンをクリックします。



→リストにクライアントが登録されます。

④ **OK** ボタンをクリックし、38ページの手順を参考に設定を保存してください。

■修正の方法

修正したクライアントを選択すると、各項目のその設定が表示されますので修正 部分を入力します。修正が終われば 修正 ボタンをクリックします。変更内容 を有効にするには、 OK ボタンをクリックし、38ページの手順を参考に設定を 保存してください。

■削除の方法

リストから削除したいクライアントを選択し、**削除** ボタンをクリックします。 変更内容を有効にするには、**OK** ボタンをクリックし、38ページの手順を参考 に設定を保存してください。

ルーティング設定

RIP(Routing Information Protocol)を使ったルーティング設定が可能です。本 製品はRIP V1, V2に対応しています。「RIPルーティング」を有効にしている場 合はルーティングテーブルは動的に作成されますので設定の必要はありません。 静的に指定したい場合は次の手順で変更してください。

MEMO 設定を変更した場合は・・・

設定を変更した場合は、必ず **OK** ボタンをクリックしてください。そのあとは 設定を保存する操作を実行してください。操作手順は38ページ「変更した設定 の保存方法」をお読みください。

■静的な設定の手順

 ①「RIPルーティング」の「無効」を選択します。
 ②「宛先のアドレス」にルーティングの対象となるパケットの宛先IPアドレスを 入力します。

- ③「宛先サブネットマスク」にルーティングの対象となるパケットの宛先IPアド レスに対するサブネットマスクを入力します。
- ④「次のホップのゲートウェイアドレス」にルーティングの対象となるパケットの転送先ルータのIPアドレスを入力します。



追加 ボタンをクリックします。



⑥ OK ボタンをクリックし、38ページの手順を参考に設定を保存してください。

■修正の方法

修正したクライアントを選択すると、各項目のその設定が表示されますので修正 部分を入力します。修正が終われば 修正 ボタンをクリックします。変更内容 を有効にするには、 OK ボタンをクリックし、38ページの手順を参考に設定を 保存してください。

■削除の方法

リストから削除したいクライアントを選択し、**削除** ボタンをクリックします。 変更内容を有効にするには、**OK** ボタンをクリックし、38ページの手順を参考 に設定を保存してください。

無線LAN基本設定

無線LANに関する設定項目です。設定画面を表示するには左フレームのメニュー にある[詳細設定]→[無線LAN基本設定]を選択します。

| | 無線LAN基本設定 |
|------------------|-------------------------------------|
| ESSID : | YamADAfAMilY |
| アクセスポイント名: | Laneed AP-01 |
| チャンネル : | 6 🗸 |
| アクセスポイントモー ド: | ◎マスター ○スレーブ |
| アクセスボイン | ト名は、0-9, a-z, A-Zの文字のみ入力可能です。 OK |

MEMO 設定を変更した場合は・・・

設定を変更した場合は、必ず **OK** ボタンをクリックしてください。そのあとは 設定を保存する操作を実行してください。操作手順は38ページ「変更した設定 の保存方法」をお読みください。

●ESS ID

半角英数字32文字以内で入力します。大文字と小文字が区別されます。本製品 に接続する無線LANアダプタには、すべて同じESS IDを設定します。初期値は Laneedです。

●アクセスポイント名

本製品を2台以上使用する場合は、それぞれ名称が異なるアクセスポイント名を 設定します。入力できる文字は0~9、a~z、A~Zの半角英数字および「-」です。 最大31文字まで入力できます。

●チャンネル

無線LANで使用する周波数帯のチャンネル番号を設定します。本製品以外にアク セスポイントを使用している場合や混信がある場合に変更します。本製品以外に アクセスポイントがある場合は、できるだけ5チャンネル以上空けてください。 (例)1ch:6ch:11ch:14ch

●アクセスポイントモード

本製品は、「ブルータ機能」に対応しています。例えばセグメントの異なる2点間 の離れた有線LANに本製品をそれぞれ接続すると、無線LANを使って2つのLAN をつなぐことができます。3台以上、本製品を用意すれば1対nの接続も可能です。 ブルータ機能を使用する場合は、本製品の1台目を「マスター」に設定し、2台 目以降を「スレーブ」に設定する必要があります。屋内リピータ機能についての 設定方法などは55ページ「10.ブルータ機能を使う」をお読みください。

WEP設定

無線LAN上でやり取りされるデータを盗聴から保護するためにWEP(Wired Equivalent Privacy)に基づいてデータを暗号化します。WEPの設定をしていな いクライアント(コンピュータ)は、データを読み取れなくなります。設定画面を 表示するには左フレームのメニューにある[詳細設定]→[WEP設定]を選択します。 なお、WEPについての説明は13ページ「WEP」を参照してください。



無線LANのクライアントから設定する場合

無線LANのクライアントから本製品の設定ユーティリティを起動している場合 は、先に本製品側のWEP設定をおこない、次に無線LANアダプタのWEP設定 をおこなってください。先に無線LANアダプタのWEP設定の内容を変更すると、 本製品に接続できなくなります。

WEP設定のポイント

WEPキーにはキー1~キー4まであり、同時に4種類のキーを登録できます。コ ンピュータAとコンピュータBの間で暗号化したデータをやり取りする場合は、 それぞれが同じWEPキー番号(キー1~キー4のいずれか)を選択し、同じキー ワードを入力します。これで相互に暗号化されたデータを正しく受信できます。 キー番号は4つありますが、実際に使用するのはひとつだけです。使用するWEP キー番号にだけ文字列を設定してもかまいません。WEPを設定しても暗号キーの 文字列が異なったり、文字列が同じでも使用するWEPキー番号が異なったりすれ ば、データのやり取りできません。



WEPの設定手順



※16進数とは0~9の数字とA~Fのアルファベットで構成される文字列です。ASCII文字は 0~9およびA~Z(小文字を含む)で構成される文字列です。



| キー入力形式: | ASCI形式 🖌 | どちらかを選択 |
|-----------|-------------------------|---------|
| 使用するキー番号: | HEX(16)進数)形式 ASCII形式 | |





・本製品およびデータのやり取りをする無線LANのクライアントには、同じ文字 列の入った同じキー番号を指定する必要があります。 4 選択した暗号キーに16進数またはASCII文字を入力します。

◆64ビット16進数の場合



※ASCII文字の場合は→ 4

・64ビットの場合は16進数なら10桁の文字列、ASCII文字なら5文字を入力します。

・文字数は固定で、多くても少なくても正しく設定できません。

◆128ビット16進数の場合



※ASCII文字の場合は→ 128-bits +-3: yamaxr87u2t13

・64ビットの場合は16進数なら26桁の文字列、ASCII文字なら13文字を入力 します。

・文字数は固定で、多くても少なくても正しく設定できません。

注意お

入力した16進数/ASCII文字はメモしてください

設定を保存すると入力した文字列は「*」で表示され読めなくなります。キーに 入力した暗号を忘れないようにメモしておいてください。この暗号はクライ アントのWEP設定に必要になります。



3

⁴⁰hits / 64hits +-3: 15c7w



「設定は保存されました」とメッセージが表示されますので、ブラウザの更新ボ タンをクリックします。〈システムステータス〉画面が表示されます。

これでWEPの設定は完了です。無線LANでアクセスするすべてのコンピュータ に同じ設定をしてください。

MACアドレスフィルタリング設定

MACアドレスフィルタリングは、無線LAN経由で本製品にアクセスを許可する クライアント(コンピュータ)を無線LANアダプタのMACアドレスを使って制御す る機能です。ここに登録されたクライアントは本製品への接続を拒否されます。 設定画面を表示するには左フレームのメニューにある[詳細設定]→[MACアドレ スフィルタリング設定]を選択します。



MACアドレスフィルタリングを有効にすると、リストに登録されたMACアドレスを持つクライアント以外は無線LANを経由して本製品にアクセスすることはできません。また、リストに登録したMACアドレスでも「拒否」に設定しているクライアントも接続することはできません。

MEMO 設定が有効なクライアントについて

MACアドレスフィルタリングが有効なのは、本製品のアクセスポイント機能を経 由して接続するクライアントだけです。有線LANを経由して接続するクライアン トは制御できません。

設定を変更した場合は・・・

設定を変更した場合は、必ず **OK** ボタンをクリックしてください。そのあとは 設定を保存する操作を実行してください。操作手順は38ページ「変更した設定 の保存方法」をお読みください。

■設定の方法

①「MACアドレスフィルタリング」の「有効」を選択します。

②「MACアドレス」にフィルタリングしたいクライアントに取り付けられた無線 LANアダプタのMACアドレスを入力します。



③指定したクライアントについて本製品との接続を許可するのか、拒否するのか を選択します。



④ 追加 ボタンをクリックします。



[→]ルーティングテーブルにクライアントが登録されます。

⑤ OK ボタンをクリックします。設定保存を実行するようにメッセージが表示 されますので、左フレームのメニューにある[設定保存]をクリックして設定を 保存してください。詳しい操作は38ページ「変更した設定の保存方法」をお 読みください。

■修正の方法

修正したクライアントを選択すると、各項目のその設定が表示されますので修正 部分を入力します。修正が終われば 修正 ボタンをクリックします。変更内容 を有効にするには、 OK ボタンをクリックして設定を保存してください。

■削除の方法

リストから削除したいクライアントを選択し、**削除**ボタンをクリックします。 変更内容を有効にするには、**OK**ボタンをクリックして設定を保存してくだ さい。

パスワード変更

管理者だけが設定ユーティリティにアクセスし、設定内容を変更する場合はパス ワードを設定してください。パスワードを設定していない場合、本製品にアクセ ス可能なクライアントから自由に設定内容を変更できます。変更手順は次のとお りです。

- ①「現在のパスワード」に現在のパスワードを入力します。初期値は半角数字の 「12345」です。
- (2)「新しいパスワード」に新しいパスワードを入力します。
- ③「新しいパスワードの確認」にもう一度、新しいパスワードを入力します。
- ④ **OK** ボタンをクリックします。
- ⑤設定の保存操作をします。詳しい保存方法の手順は38ページ「変更した設定 の保存方法」をお読みください。
- ●次回からパスワードの入力画面が表示された場合は、新しいパスワードを入力 してください。



互いに接続されていないセグメントの異なる複数の有線LANにそれぞれ本製品を 接続すると、無線LANを使って複数のLANをつなぐことができる「ブルータ機能」 を利用できます。1対1はもちろん、複数の本製品の中で1台をマスターとし、残 りをスレーブとして扱うことで1対nの接続が可能になります。マスターになる本 製品は、NATとRIPを有効にし、スレーブになる本製品はNATを無効に、RIPを 有効にしておく必要があります。



スレーブには無線LANでアクセスすることはできません

スレーブに設定された本製品はブルータに切り替わり、アクセスポイント機能 は利用できなくなります。無線LANのクライアントが接続できるのはマスター のアクセスポイントだけです。



■設定の方法(ネットワークを構築する前に次の設定をおこなってください)

①複数ある本製品のうち1台をマスターに決めます。初期値はマスターに設定されていますので通常は設定を変更する必要はありません。

②残りの本製品はスレーブに設定します。[詳細設定]の[無線LAN基本設定]を 選択し、「アクセスポイントモード」を「スレーブ」に変更します。また、ス レーブにした製品はESS IDをマスターのESS IDに合わせます。

③本製品のIPアドレスが重複しないようにマスターおよびスレーブの「LANポート設定」でIPアドレスを変更します。

④マスターおよびスレーブをネットワークに設置します。

⑤これでブルータ機能が利用できるようになります。



Laneed

インターネットに接続できない

- ●インターネットへ接続するための契約などはすべて完了しています か? 屋内への回線引き込み工事およびモデムの準備は完了していま すか?
- ➡すべての契約と工事が完了していないと、本製品のセットアップが終わっても インターネットに接続することはできません。
- ●本製品のPWRランプおよびモデムの電源ランプは点灯しています か?
- ➡電源コードまたはACアダプタが正しく接続されているか確認してください。 ACアダプタは各製品に付属のものをお使いください。

●モデムとWAN側の回線は正しく接続されていますか?

- ➡モデムのLEDインジケータなどを確認してください。詳しくはモデムのマニュ アルをお読みください。
- ●モデム~本製品間はイーサネットケーブルで正しく接続されています か? リンクは確立していますか?
- →イーサネットケーブルが正しく接続されていても、ストレート/クロスの変換が必要な場合があります。本製品のWANランプが点灯していない場合は、モデム側でストレート/クロスの切替スイッチを切り替えるなどしてください。
- ●各コンピュータ(クライアント)と本製品はイーサネットケーブルで正しく接続されていますか? リンクは確立していますか?
- →コンピュータを起動して本製品の各ポートの有線LANではLANランプ、無線 LANではLNKランプが点灯しているかを確認してください。点灯していない場 合はケーブルの接触不良や断線などが考えられます。

●クライアント(コンピュータ)にTCP/IPプロトコルが設定されていま すか? IPアドレスは自動取得になっていますか?

◆クライアント側のネットワーク設定が正しくないとインターネットに接続できません。プロトコルにTCP/IPが設定されているかを確認してください(→17ページ参照)。ただし、ネットワーク管理者が存在するネットワークの場合は管理者に確認してください。

- ●クライアント(コンピュータ)のWebブラウザのアドレスに、本製品の LAN側のIPアドレス(初期値は192.168.1.254)を入力すると、設 定ユーティリティの〈ログイン〉画面が表示されますか?
- → 〈ログイン〉画面が表示される場合は、クライアント~本製品間は正常につな がっています。表示されない場合は、ケーブルの問題またはコンピュータ側の ネットワーク設定の問題が考えられます。また、クライアント側のIPアドレス などが正常に取得されていないことが考えられます。次ページの「IPアドレス 等がわからない」をお読みになりIPアドレスを確認してください。
- ●プロバイダの接続タイプと、基本設定で選択した接続の種類が一致していますか?
- ➡接続の種類が異なると正しく接続できません。接続の種類がわからない場合は、 本製品の接続タイプを説明し、どのタイプが該当するかをプロバイダにお尋ね ください。

●設定内容は正しいですか?

◆各項目の入力項目が正しいかを確認してください。特にパスワードは表示されないため、入力ミスがあってもわかりませんのでご注意ください。

●ネットワーク設定などを変更していませんか?

→IPアドレスの変更などが関係する設定を変更している場合は、各クライアント (コンピュータ)のIPアドレス等を書き換える必要があります。次ページの「IP アドレス等がわからない」をお読みください。

無線LANアダプタから接続できない

●通信モードを正しく設定していますか?

→無線LANアダプタの設定で、通信モードが「アドホック・モード(アクセスポイントを使用しない)」に設定しされていると、本製品を見つけることはできません。本製品を使用して通信する場合は、「インフラストラクチャ・モード(アクセスポイントを使用する)」に設定してください。

●無線LANアダプタから本製品の設定ユーティリティにアクセスする場合、本製品の設定をする前に、無線LANアダプタの設定を変更していませんか?

→新規導入時に無線LANアダプタから本製品の機能を設定する場合は、無線LAN アダプタの設定を初期値にしたまま、本製品に接続します。本製品を設定する より前に、無線LANアダプタの設定を変更してしまうと、本製品を見つけるこ とができません。このような場合は、無線LANアダプタの設定ユーティリティ でESS-IDを「Laneed」に、WEPを「無効」に設定して接続してください。

●本製品と無線LANアダプタのESS-IDは同じに設定されていますか?

- →無線LANアダプタのESS-IDと本製品のESS-IDが異なると、無線LANアダプ タから本製品を見つけることができません。
- ●無線LANカードだけ、または本製品だけにWEPを設定していませんか?
- →一方だけにWEPを設定している場合は、無線LANカードから本製品を見つけることができません。そのため、無線LANカードから本製品の設定を変更することもできなくなります。
- 注:有線LANがない環境で本製品に間違ったWEP設定をした場合は、一時的に有線LANで 設定ユーティリティに接続して変更するか、リセットを実行してください(+60ページ)。 ただし、リセットするとすべての内容が初期値に戻ります。

IPアドレス等がわからない

クライアント(コンピュータ)のIPアドレスがわからない場合は、次の手順で調べてください。

A. Windows XP/2000/NT 4.0の場合

コマンドプロンプトを表示し、「ipconfig」を実行してください。

(例)Windows XPでの実行方法

 ①[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を選 択します。

 ②「>」の後ろでカーソル点滅していますので、キーボードから「ipconfig」と 入力し、Enter キーを押します。

③IPアドレス等が表示されます。

| C:¥Documents and Settings¥user>ipconfig |
|--|
| Windows IP Configuration |
| |
| Ethernet adapter ローカル エリア接続: |
| Connection-specific DNS Suffix . : WorkGroup |
| IP Address |
| Subnet Mask |
| Default Gateway : 192.168.1.254 |
| |

B. Windows Me/98の場合

①[スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選択します。

②「名前」に「winipcfg」と入力し、**OK** ボタンをクリックします。

| ファイル名を | 指定して実行 | ? × |
|-----------------|---|------------|
| | 実行するプログラム名、フォルダ名、ドキュメント名、またはインクトリソース名を入力してください。 | ヌーネッ |
| 名前(<u>O</u>): | winipcfg | • |
| | OK キャンセル 参照(| <u>B</u>) |

③ 〈IP設定〉画面にIPアドレス等が表示されます。終了するときは、画面右上の × たクリックします。



- ●もし、IPアドレス、サブネットマスクなどが正常に取得できていないようであれば、「すべて書き換え」ボタンをクリックします。
- ●IPアドレス自体が取得できない場合は、クライアントが正常にネットワークに 接続されていないか、本製品のDHCPサーバ機能が「使用しない」に設定され ているなどが原因として考えられます。

リセットの手順

次の手順で本製品を工場出荷時の状態に戻します。

①電源が入った状態で本製品の背面にあるRESETスイッチを1回押します。
 ②その後、すべてのランプが約15秒のあいだ点灯したままになり、続いてイニシャライズが始まります。

③イニシャライズが始まるとランプが順番に点灯します。イニシャライズは約 30秒間かかります。

④イニシャライズが終わればリセットの完了です。

注意:イニシャライズが終わるまで、絶対に電源を切らないでください。



ラニード製品のサポートサービスについては、下記のブロードバンドルータ専用 サポートへお電話またはFAXでご連絡ください。サポート情報、製品情報に関し ては、FAX情報、インターネットでも提供しております。なお、サポートサービ スを受けるためには、必ずユーザ登録をおこなってください。

ラニード・ブロードバンドルータ専用サポート

TEL: 03-5798-7900 FAX: 03-3444-8205

受付時間:月~金曜日 9:00~12:00 13:00~19:00(年中無休) ※上記の電話番号は、ブロードバンドルータ専用です。

●インターネット

http://www.elecom-laneed.com

●FAX情報サービス 最寄りのサービス情報BOXセンターにお電話ください。 ガイダンスに従って取り出したい情報のBOX番号を指示してください。

メインメニューBOX番号(提供している情報の一覧がFAXされます) 559900

電話番号

東京: 03-3940-6000 大阪: 06-6455-6000 名古屋: 052-453-6000 福岡: 092-482-6000 札幌: 011-210-6000 仙台: 022-268-6000 広島: 082-223-6000

●修理の依頼

本製品が故障した場合には、故障した製品と保証書に、故障状況を記入したものを添えてご連絡ください。

保証期間内

まずは、上記のブロードバンドルータ専用サポートまで電話またはFAXでご連絡 ください。

保証期間外

東京都八王子市子安町3-5-2 セキエレクトロニクス株式会社内 エレコム修理センター 電話番号 0426-31-0271 FAX番号 0426-31-0272 受付時間 月曜日~金曜日 9:00~12:00 13:00~17:00 (ただし、祝祭日および夏期・年末年始特定休業日は除く) ※FAXによる受信は24時間おこなっております。

●サポートセンターへお電話される前に

サポートセンターにお電話される前に次の事項を確認してください。

・このマニュアルの56ページ「11.こんなときは」をお読みになりましたか。まだ、お読みでない場合は、お電話の前にお読みください。

・システムを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。

・異常のある製品を取り付けたコンピュータの前から会話が可能な場合は、コン ピュータの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックでき ますので、解決しやすくなります。

・FAXを送られる場合は、付属の別紙「トラブルシート」に、できるだけ詳しい内 容をご記入ください。

次のことをお調べください。

●ネットワーク構成

使用しているネットワークアダプタ: 使用しているOS: 使用しているコンピュータ本体(メーカーおよび型番): ネットワークを構成するコンピュータの台数とOSの構成: ネットワークを構成するその他の関連機器(HUB、ルータ等):

●具体的な現象について

具体的な現象: 事前にお客様が試みられた事項(あればお伝えください):



●ルータ部/本体仕様

| 商品名 | 無線ブロードバンドルータ |
|--------------------|-----------------------------------|
| 製品型番 | LD-WBBR1 |
| WAN側 インターフェイス※1 | 10Mbps RJ45ポート×1 |
| LAN側 インターフェイス | 10/100Mbps RJ45ワークステーションポート×1 |
| 規格 | IEEE802.3/IEEE802.3u |
| 対応回線 | CATVインターネット接続、xDSL回線 |
| 通信速度 | WAN側:10Mbps、LAN側:10Mbps/100Mbps |
| アドレス変換方式 | NAT/IPマスカレード |
| 対応プロトコル | TCP/IP |
| セキュリティ | NATによるファイヤウォール、パスワード管理 |
| 電源/消費電力 | 電源: DC9V(ACアダプタによる) 消費電力: 最大15.3W |
| 動作温度 | 0~55°C |
| 動作湿度 | 10~90%(結露なきこと) |
| 外形寸法 | 幅150×奥行90×高さ27mm(突起物を除く) |
| 付属品 | ACアダプタ、マニュアル、ユーザ登録カード、保証書 |

※1 アクセスポイントモード時は10MbpsのLANポートして使用可能

●無線LAN部仕様

| 規格 | IEEE802.11/IEEE802.11b, RCR STD-33 ARIB STD-T66 |
|--------|---|
| 周波数帯域 | 2.4GHz(2.412~2.4835GHz) |
| チャンネル | lch~l4ch |
| 伝送方式 | DS-SS方式(直接拡散スペクトラム拡散方式) |
| 伝送速度 | 11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbps |
| 伝送距離 | 11Mbps: 屋内約25m/屋外約100m 5.5Mbps: 屋内約35m/屋外約140m 2Mbps: 屋内約40m/屋外約160m 1Mbps: 屋内約50m/屋外約180m |
| アクセス方式 | インフラストラクチャ |
| アンテナ方式 | ダイバーシティアンテナ(内蔵) |
| セキュリティ | ESS ID、WEP64ビット(40ビット互換)および128ビット、 MACアドレスフィルタリング、パスワード管理 |

Note

無線ブロードバンドルータ
 LD-WBBR1
 ユーザーズマニュアル
 発行 エレコム株式会社
 2002年3月30日 第1版 c

Laneed ELECOM